

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京ウェディング・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ウェディング科	夜・通信	2024年度 153 単位 2023年度 96 単位	2024年度 9 単位 2023年度 9 単位	
	ウェディングプランナー科	夜・通信	2024年度 127 単位 2023年度 126 単位 2022年度 130 単位	2024年度 127 単位 2023年度 126 単位 2022年度 130 単位	
(備考) ウェディング科は2023年度から3年制に移行し、1・2年次のみ講師契約確定済み(3年次科目は講師未確定)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、実務経験のある教員の担当科目にはチェックあり。</p> <p><ウェディング科> https://www.wedding.ac.jp/public_information/files/pdf/curriculum_wedding_2024.pdf</p> <p><ウェディングプランナー科> https://www.wedding.ac.jp/public_information/files/pdf/curriculum_weddingplanner_2024.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京ウェディング・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(江戸川区)の名士として学校と地域の連携を図る。
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(北海道)の名士として学校と地域の連携を図る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京ウェディング・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ウェディング科(3年制)、ウェディングプランナー科(3年制)</p> <p>【作成について】 毎年度5月に実施している教育課程編成委員会を行い、前年度の教育活動の振り返りと、業界からの意見を頂戴している。その意見も加味し、各授業科目については、学内カリキュラム会議により授業科目の設定・講義内容の検討を行っており、作成については常勤職員と担当講師が打ち合わせをしたうえでやっている。 学内のシラバスの中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び予習の事項については、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】 翌年度の講義予定は2月中には担当講師が作成し、3月中にまとめ上げ、4月に学生へマイクソフトの TEAMS を使用し配信、HP 上に公開を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験により成績評価を行っている。</p> <p><参考> (修了の認定、学習の評価) 学則 第11条 学校長は定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価する。評価は「A」「B」「C」「D」「E」「F」で行い、「D」以上で合格とする。但し、学校長が必要と認めた場合には、これら以外の表記で成績を表すことができる。評価方法の詳細については別に定める。 2 定期試験の方法は筆記試験、口頭試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 3 試験の欠席者には追試験を、不合格者には再試験をそれぞれ一度ずつ行う。 4 出席時間数が規定の授業時間数の10分の7に満たない者については単位の認定をしない。(定期試験の受験資格を喪失する。) (卒業・修了の認定) 学則 第23条 教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、該当教科科目の7割以上をそれぞれ出席しており、また試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。 2 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業または進級認定をしなければならない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学生配布の学生便覧において GPA 制度の導入目的及び、算出方法、計算式を記載しており、入学時のオリエンテーションで HP でも公表をしている。</p> <p><参考>GPA(Grade Point Average)制度による評価規定 (GPA 制度導入の目的) 第1条 GPA は学生の成績を数値化し、客観的に把握するためのものです。学修成績全体の状況を把握し、学生の学習意欲の向上及び適切な修学指導に役立たせると共に、海外への留学や就職等、国際的な評価に対応させることを目的とする。 (GPA の算出方法) 第1条 学則施行細則第3条第2項に定める評価に対する GP のポイントと、GPA を算出する計算式は以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実点数範囲</th> <th>成績評価</th> <th>GP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点～90点</td> <td>A</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>89点～80点</td> <td>B</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>C</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>D</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>59点以下</td> <td>F</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>出席不良</td> <td>E</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【GPA を算出する計算式】 (該当授業科目の単位数×各授業科目で得た GP)の合計 / 当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計 (GPA の算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとする。)</p>		実点数範囲	成績評価	GP	100点～90点	A	4.0	89点～80点	B	3.0	79点～70点	C	2.0	69点～60点	D	1.0	59点以下	F	0.0	出席不良	E	0.0
実点数範囲	成績評価	GP																				
100点～90点	A	4.0																				
89点～80点	B	3.0																				
79点～70点	C	2.0																				
69点～60点	D	1.0																				
59点以下	F	0.0																				
出席不良	E	0.0																				
客観的な指標の 算出方法の公表方法																						
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の要件は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科科目に合格し、学校長が進級・卒業と認定したものであり、学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。</p> <p>詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、施行細則等に記載している。</p>																						
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上で公開 https://www.wedding.ac.jp/public_information/																					

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京ウェディング・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
財産目録	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
事業報告書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
監事による監査報告(書)	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ウェディング科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	90 単位	40 /単位	268 /単位	33 /単位	/単位	15 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		124人	0人	7人	35人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3（(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表）の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談受付や面談、進路相談を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70人 (100%)	1人 (1.4%)	65人 (92.9%)	4人 (5.7%)
（主な就職、業界等）結婚式場・ゲストハウス・ホテル・ドレスショップ・フラワーショップ・ブライダルフォトムービー等			
（就職指導内容）個人面談、業界懇談会・オンライン模擬面接会の実施、履歴書指導、面接練習等			
（主な学修成果（資格・検定等））国家検定 ブライダルコーディネーター技能検定3級 合格率94.9%【39名中37名合格】(全国平均79.1%)			
（備考）（任意記載事項）その他4名の内、4名はアルバイト契約での継続就業希望			

※卒業生数、進学者数、就職者数実績は2年制学科のもの（3年制学科は1年生のみ在籍で卒業年次生がいなかったため）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
137人	9人	6.6%
（中途退学の主な理由） 目標喪失、メンタル等疾患 など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の個別面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングサービスの提供		

※中途退学の現状は2年制と3年制の合計

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ウェディングプランナー科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	156 単位	39 /単位	95 /単位	24 /単位	単位	単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	108人	0人	2人	11人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3（(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表）の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談受付や面談、進路相談を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	32人 (88.9%)	4人 (11.1%)
（主な就職、業界等）結婚式場・ゲストハウス・ホテル・ドレスショップ等			
（就職指導内容）職業実践的インターンシップ(プランナーアシスタント実習)・個人面談・企業見学会・履歴書指導・面接練習等			
（主な学修成果（資格・検定等））国家検定 ブライダルコーディネーター技能検定3級 合格率96.9%【32名中31名合格】(全国平均79.1%)			
（備考）（任意記載事項）その他4名の内、4名はアルバイト契約での継続就業希望			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115人	3人	2.6%
（中途退学の主な理由） 目標喪失、メンタル等疾患 など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の個別面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングサービスの提供		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ウェディング科	100,000 円	980,000 円	350,000 円	
ウェディングプランナー科	100,000 円	980,000 円	250,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wedding.ac.jp/public_information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を設置する。学校関係者評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営へ理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ウェディングプランナー	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
ブライダル業界誌編集長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	業界関係者
ゲストハウス運営会社マネージャー	2023. 4. 1～2025. 3. 31	業界関係者
私立高等学校学校長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	高等学校関係者
ウェディングプランナー科 2年 保護者	2024. 4. 1～2026. 3. 31	保護者代表
地域有限会社代表取締役社長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wedding.ac.jp/public_information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wedding.ac.jp/public_information/
--